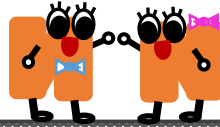


まちぐるみ健康づくり交流会 みんなで描いてみよう！ つながる、ひろがる地域の輪

日時：令和6年12月3日（火）
午後1時30分～4時
場所：西保健福祉センター
参加：68名



活動発表

「子どもと過ごしたい場所、ここにあります」

速星☆きらきら☆子育てサロン ボランティア代表 槻 光世 氏



子育てサロン設立まで

「子育てを応援する事業がしたい」という思いから、親子が集う場を開設するため、社会福祉協議会や幼稚園・保育園、民生委員児童委員などと幾度にわたる検討を重ねた。子育てサークルや児童館を見学し、実際にイメージしながら準備をすすめ、子育て中の保護者のニーズを把握するために3つの園の保護者にアンケートを実施した。

⇒ 令和4年6月より、ついに子育てサロンを開始！

子育てサロンでの活動

開催時間中は出入り自由、予約不要であり「気軽に集まれる場所」が実現。

保育園・幼稚園の先生との交流会、手形アートや季節のイベント、子どものヘアカットのこつなど、サロンの内容は、お母さんたちとの会話からヒントを得ながら実施。そのような中で、「保育園にもっていく雑巾を作ることが負担」というお母さんたちの声をキャッチ。雑巾を縫うボランティアを募集し、令和6年度分として1300枚を縫い上げ、各園に届けた。⇒ 子育てサロンの活動がさらに広がり、多くの子育て世帯に還元される活動となった！



皆さんに伝えたいこと

やってみようと思ったら・・・

- ・その時に必要なことか…今だと思ったらその時がチャンス
- ・誰がやるべきか…やりたいと思った人がやる
- ・仲間づくり…誰にでも想いを訴え続ける
- ・地域の団体は強い味方…横のつながり、日頃のお付き合いが力に
- ・はじめから大きな望みは持たない…細々とでいいからできたらいいな



講師講演

「広げよう!! つながりと支え合いの地域の輪 ～地域のチカラ・タカラを生かして～」

富山国際大学 子ども育成学部 教授 相山 馨 氏



人と人がつながる地域づくりが必要

人は、役割やそれを発揮する機会、認められる場所や関係がないと生きる気力を保つことが難しい。そのため、誰にも「居場所」が必要であるが、このような場は制度だけではつくれず地域でのふれあいが不可欠。



「人と人がつながる地域づくり」を進めていくことで、

その先の地域共生社会（誰もが安心してイキイキと暮らせる地域社会）の実現を目指す

自由な「ふれあい」の居場所作りが大切

人は同じ場に集い時間を共有することで、関係性を築くことができる。「いつ行ってもいい。誰が行ってもいい。何をしてもいい」という地域の居場所を作ること、地域の中で支え合う関係を広げていく。



地域共生社会を実現するために重要なこと

- ・住民同士が互いを気かけ、地域の困り事をわが事として捉える
- ・従来、地域にあるもの（チカラ・タカラ）を大切にし、つながりを広げていく
- ・地域づくりに向けて、みんなで一緒に地域を考え、知恵や工夫を共有する場を設ける

意見交換

地域の「チカラ・タカラ（良いところ・できていること）」とそれに関わっている人や団体をあげ、「支え合いの地域」を広げていくためにどんなことができるかをグループ毎に意見交換した。

グループワークで出た意見

地震では近くの人の見守りが必要と感じたが、平時からつながりあっておくことが大切。地域の組織や自治会とのつながりも巻き込んでいくと良い。



＜講師より＞

平時からのつながりが大事。普段の関わり合いがあれば、何かあった時につながることができる。

各地域で素晴らしい取り組みがあると分かった。それを継続していくこと、そのためにはどうしたら良いかを考えることが大切。



＜講師より＞

続けていくことが、人と人をつなげることになる。つながり続けることをまず大切にしてい。地域には色々な困りごとを持っている人がいる。しっかり聞いて、寄り添う姿勢で関わるのが大事。

講師からの講評

- ・子どもや障害がある人、介護が必要な人も安心して暮らせる地域を作っていくためには、地域活動が欠かせない大事なものであると改めて実感した。
- ・地域での活動には人と人との触れ合いがあり、人がつながる。笑顔があればまた行きたいと思う。子ども達が入ればこれからどんなことができるか輪となり広がる。
- ・今日見えてきた地域のチカラとタカラを財産として、これからもつながりと支え合いの地域の輪をみんなで作っていく取り組みができれば素晴らしい。日頃の活動そのものが地域の輪を広げていく。



会場では・・・



各地区において、子どもが集まる行事や居場所などについて地区担当保健師がまとめ、掲示した。

開催後アンケートより・・・

- ・立場や地域を超えてたくさんの意見を伺うことができて刺激になった。
- ・地域の人々の力を借りて地域の子どもの成長を共に支えていきたい！と改めて思った。
- ・自分の地域でやってないことがこれからできないかどうか考えさせられた。

